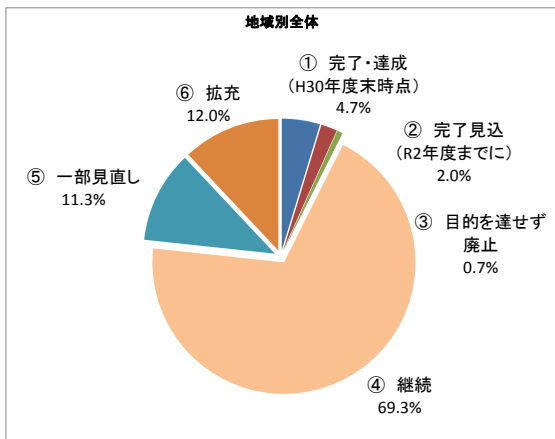


福島県総合計画（ふくしま新生プラン）

総点検結果（地域別）

ふくしま新生プラン総点検結果 総括表(地域別計画)



(上段：施策評価数 下段：評価内訳割合)

地域別	① 完了・達成 (H30年度末時点)	② 完了見込 (R2年度までに)	③ 目的を達せず廃止	評価内訳			⑦ 新たな取組が必要
				④ 現行の取組の継続が必要	⑤ 現行の取組の一部見直しが必要	⑥ 現行の取組の拡充が必要	
合計	150	7	3	1	104	17	18
		4.7%	2.0%	0.7%	69.3%	11.3%	12.0%
1 県北	20				15	1	4
2 県中	22	2	1		14	4	1
3 県南	20	1			12	1	6
4 会津	20				8	6	6
5 南会津	20			1	18	1	
6 相双	29	3			24	1	1
7 いわき	19	1	2		13	3	

結果分析

※成果は資料(4-2)地域別主要施策評価調査に記載

< 共通 >

人口減少対策が7地域の大きな共通課題。地域の産業振興や農林水産業の再生に向けては働き手の確保及び魅力ある職場の創出が課題となっており、地域活性化やコミュニティの維持に向けては移住・定住者の確保や交流人口・関係人口の拡大が課題。

< 県北 >

【安全・安心な生活環境整備】子ども・子育て世代への相談支援の継続、避難者への健康支援や心のケアの継続等が課題。

【交流促進による地域活性化】地元の魅力に関する情報の発信強化、地域資源を活用した体験メニューの充実、移住・インバウンド受入体制の整備が課題。

【地域産業の再生・振興】企業が求める人材の育成、若者の地元定着、地域農業の担い手育成、農業者の所得向上に向けた6次化の推進、農産物等の風評の払拭等が課題。

【社会基盤の充実】地域防災体制を支える消防団員の確保等が課題。

< 県中 >

【震災・原子力災害の克服、安全・安心な地域社会形成】避難元町村の個々の状況に応じた継続支援、被災企業の事業継続に向けた人材育成や技術・製品開発の支援、営農再開の支援、放射性物質吸収抑制対策、子どもの心身の健全育成、食の安全・安心対策、防災力向上等が課題。

【産業の集積と高度化推進】AI・IoT・ICTの導入促進・普及や企業支援のための機器整備、テクノアカデミーの教育訓練内容高度化・人材育成、農林水産物の価格・取扱量回復、高齢化による担い手不足、ほ場整備等が課題。

【交流人口の拡大】福島空港の利活用促進や地域資源の磨き上げ・有機的連携が課題。

【過疎・中山間地域の振興】サポート事業・グリーン・ツーリズムの支援継続、生活交通の確保、農村地域の維持及びオリジナル品種の開発・強化等が課題。

【自然環境と調和のとれた社会形成】環境と共生する農業の取組継続、新技術の開発・検証、鳥獣被害対策、森林所有者の意欲低下、林業労働力不足・高齢化、林道の基盤整備・森林整備の継続等が課題。

< 県南 >

【地域産業の振興】既存企業への支援、事業の後継者確保、空き店舗対策、農産物への風評対策及び農業担い手育成等が課題。

【人づくり】移住者の受入体制の強化、新卒者離職への対策、新規就農者の育成・確保及び指導者となる地域人材の掘り起こし等が課題。

【地域資源を生かした交流促進】地域資源の掘り起こし、国内外への効果的な情報発信及び交通網の維持・整備等が課題。

【安全安心な里づくり】健康づくりへの意識改革、救急医療体制の整備、過疎・中山間地域での医師の確保、免許を返納した高齢者等に向けた公共交通機関の確保等が課題。

< 会津 >

【交流促進】農家民宿の更なる活用、教育旅行受入に向けたプログラム等の充実、交通ネットワークの強化及び食の安全確保等が課題。

【過疎・中山間地域の環境整備】地域活性化に向けた担い手の育成や受入体制の強化、農業後継者等の担い手育成、特産品の販路拡大、只見線の利活用促進、統廃合による教育環境の変化に伴う児童生徒へのケア及び地域医療の充実等が課題。

【産業の振興・集積】GAP取得へ向けた取組の拡大や理解の促進、林内路網整備の充実及びA・I・I・O・Tなど新技術への対応に向けた人材の育成・研修メニューの充実等が課題。

【自然環境等を後生に伝える取組】地域の伝統文化の保存・継承と活用、環境と共生する農業のさらなる推進等が課題。

< 南会津 >

【産業振興・再生可能エネルギー導入】出荷制限への継続対応、風評対策、正確な情報の発信、6次化開発支援、販路開拓支援、働き手の高齢化への対応及び人材確保対策等が課題。

【交流人口の拡大】教育旅行の体験プログラムの充実、農家民宿の受入体制の整備及び移住や就農指向者への情報発信等が課題。

【社会整備基盤の整備】医療体制の充実、計画的な林道の整備、鉄道の利用促進、地域防災体制の整備等が課題。

【地域の宝の保全・継承】自然保護に向けた関係機関との連携強化、森林資源の利活用及び子どもたちの更なる地域理解の促進等が課題。

< 相双 >

【避難者等生活再建】長期化した避難を踏まえた事業再開支援、医療福祉機関の人材育成支援及び個々の事情に応じたきめ細かな支援等が課題。

【安全安心な社会の再構築】医療福祉体制の整備や人材確保、継続したモニタリング検査、関係機関との連携強化によるきめ細かな被災者支援、地域防災を担う消防団員の確保及び帰還困難区域における工事の着手等が課題。

【インフラ整備】道路網や相馬港の整備・機能強化及び更なる利活用促進等が課題。

【産業振興】福島イノベーション・コースト構想の更なる推進に向けた機構体制の強化と地元企業をはじめとする関係機関との連携強化及び廃炉における産業の集積が課題。

【過疎・中山間と農林水産業の再生】営農再開の地域間格差の解消、農業担い手不足へ向けた対策、営農大規模化に向けた省力化技術の導入、漁業施設等の堆積物除去、森林の放射量低減対策及び食の安全安心への対策や風評対策等が課題。

【人づくり・地域づくり】教育活動の充実、魅力ある学校づくり及び観光地と物産の振興等が課題。

< いわき >

【安全安心な地域社会形成】甲状腺検査の受診機会の確保、介護人材の確保、避難地域の医療機関との連携強化、避難者と地域住民とのコミュニティ維持・形成及び行政と関係団体の連携体制の構築等が課題。

【産業再生・技術力強化】風評対策としての正確な情報発信、水産物の出荷制限指示が継続する魚種があること、販路を見据えた6次化商品の開発支援、中小企業の事業継承及び求職者掘り起こし等が課題。

【交流促進】地域資源についての正確かつ効果的な情報発信及びクルーズ船の誘致などによる小名浜港の利活用促進や施設整備等が課題。

【復興拠点整備の促進】避難者の事業再開支援や地域住民とのコミュニティ形成及びふたば医療センターとの連携体制の強化等が課題。

「地域別」の点検結果

